



株式
会社

芝浦電子

スタンダード市場：6957

株式会社芝浦電子 2022年度 決算説明会

2023年5月30日



01

財務データ

2022年度 決算説明

2022年度 業績

売上高	33,193百万円	前年同期比	8.4%増
営業利益額	5,460百万円	前年同期比	2.0%減
売上高営業利益率	16.5%	前年同期実績	18.2%
1株当たり当期純利益	500.64円	前年同期実績	474.52円
年間配当金	200円（予定）	前期実績	150円

- 売上高 +8.4%
 - ・ オートモーティブやエアコン用、ヒートポンプ給湯器用などが好調
- 営業利益額 ▲2.0%
 - ・ 第2四半期の上海ロックダウン、原材料価格の上昇、経費増加などにより営業利益額、売上高営業利益率ともに、前年同期比でマイナス
- 1株あたり当期純利益 500.64円
 - ・ 当社初の500円台

損益計算書（要約）

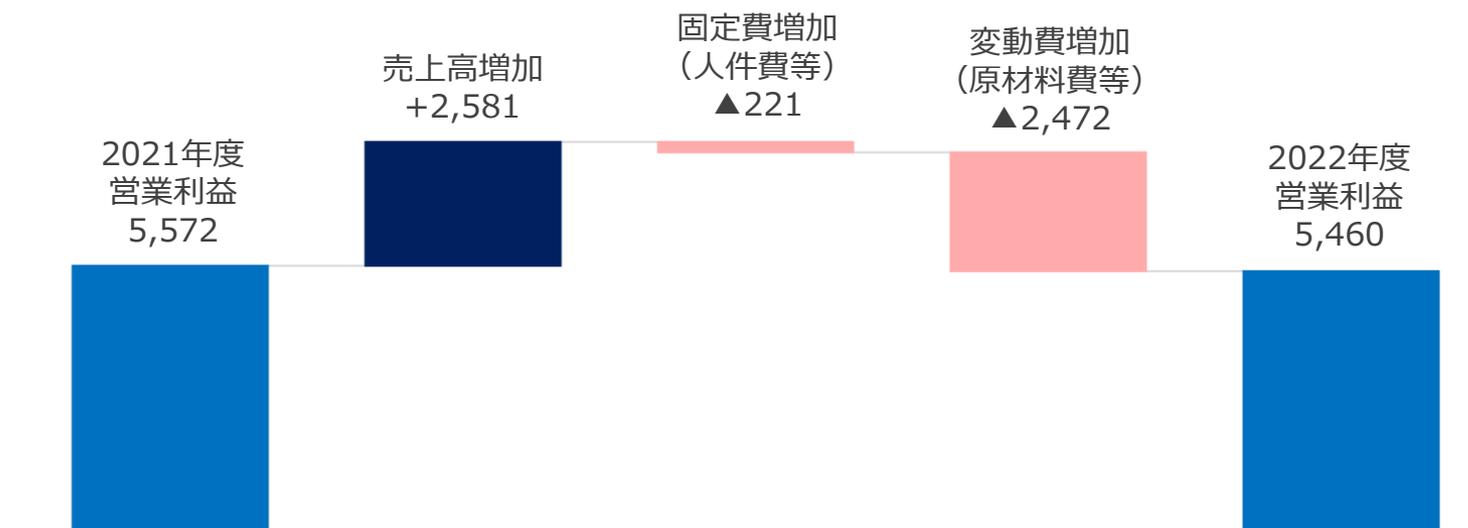
（単位：百万円・％）

	2021年度 通期		2022年度 通期		
	金額	構成比	金額	構成比	前期比
売上高	30,612	100.0%	33,193	100.0%	+2,581
売上原価	21,604	70.6%	24,010	72.3%	+2,406
売上総利益	9,007	29.4%	9,183	27.7%	+176
販売管理費	3,434	11.2%	3,722	11.2%	+288
営業利益	5,572	18.2%	5,460	16.5%	▲112
営業外収益	80	0.3%	170	0.5%	+90
営業外費用	20	0.1%	13	0.0%	▲7
経常利益	5,633	18.4%	5,617	16.9%	▲16
特別利益	11	0.0%	84	0.3%	+73
特別損失	298	1.0%	63	0.2%	▲235
法人税等	1,687	5.5%	1,803	5.4%	+116
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,654	11.9%	3,830	11.5%	+176
ROE	13.5	-	12.7	-	-

営業利益 増減要因（前年同期対比）

前年同期対比 営業利益 ▲112百万円

（単位：百万円）



売上高増加

- + 自動車(電動車)、エアコン、住宅設備、産機の増加、円安の影響
- 調理用家電、自動車向け素子(ガソリン車)の減少

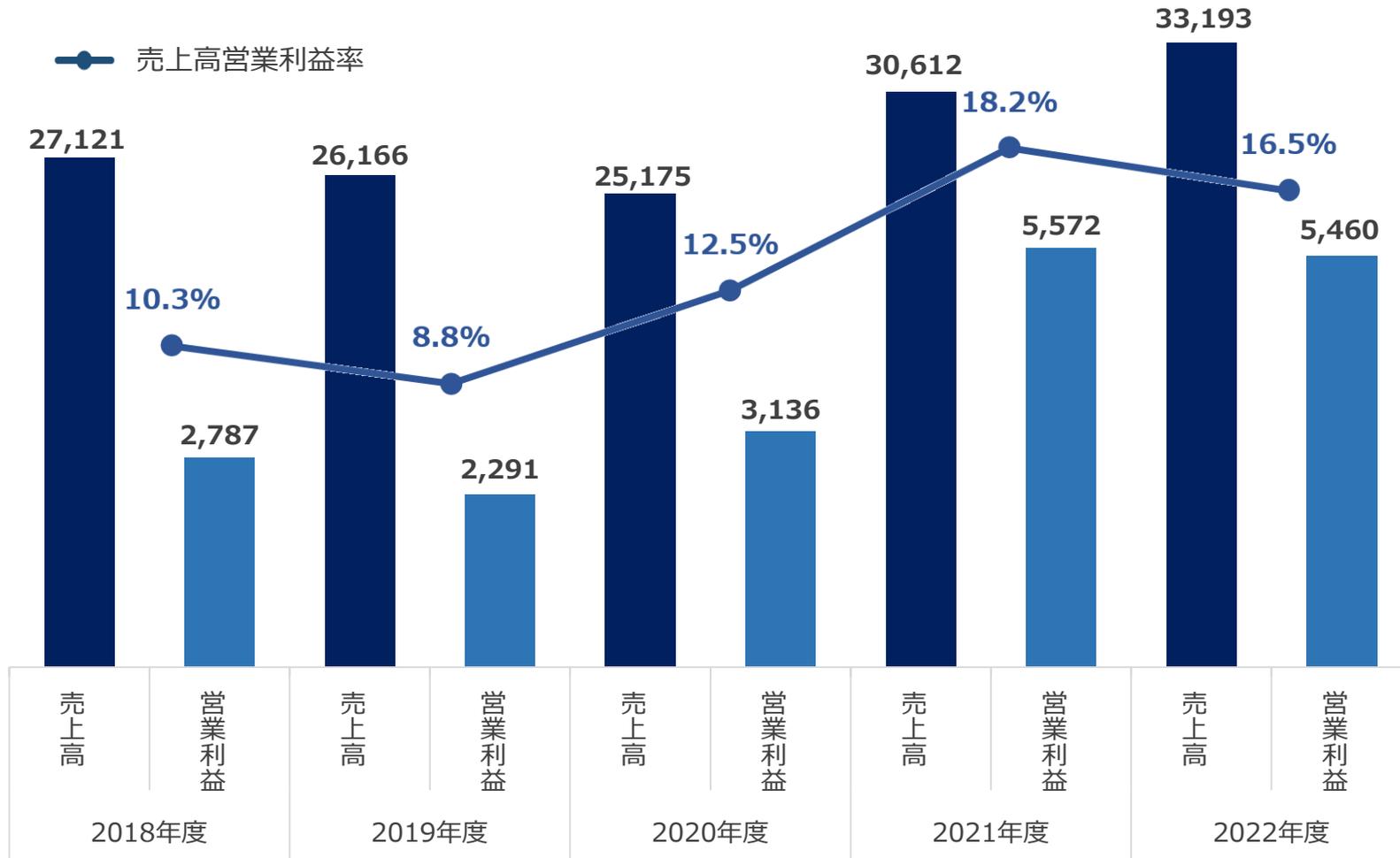
固定費増加

- + 人件費の増加
- 減価償却費の減少

変動費増加

- + 材料費、電気料金、荷造運賃費用などの増加

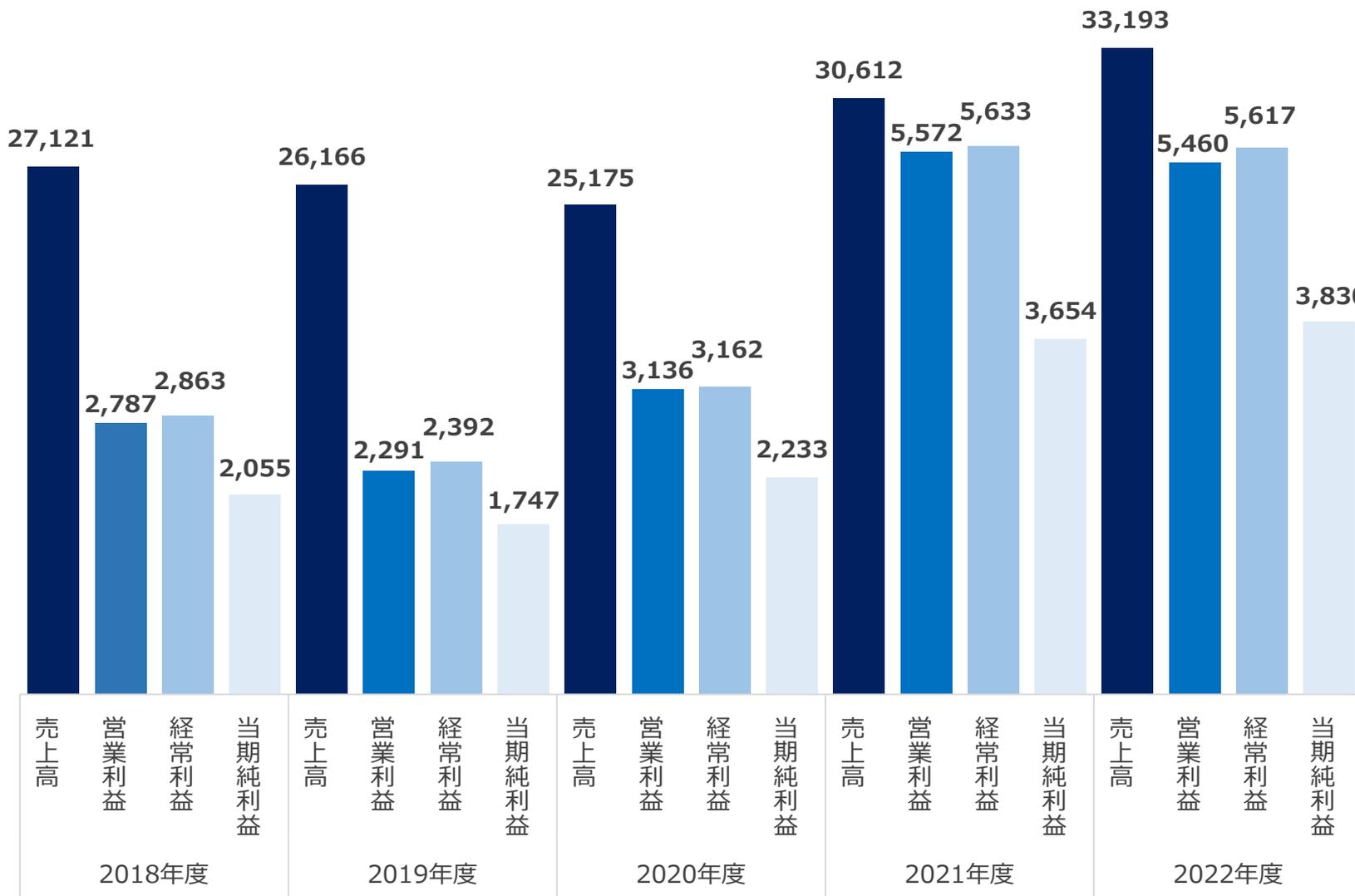
(単位：百万円)



- 売上高は過去最高を記録
- 第2四半期の上海ロックダウンや原材料価格上昇などにより、営業利益額、売上高営業利益率は前年同期比でマイナス

● 売上高、当期純利益は過去最高を記録

(単位：百万円)



貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

資産の部

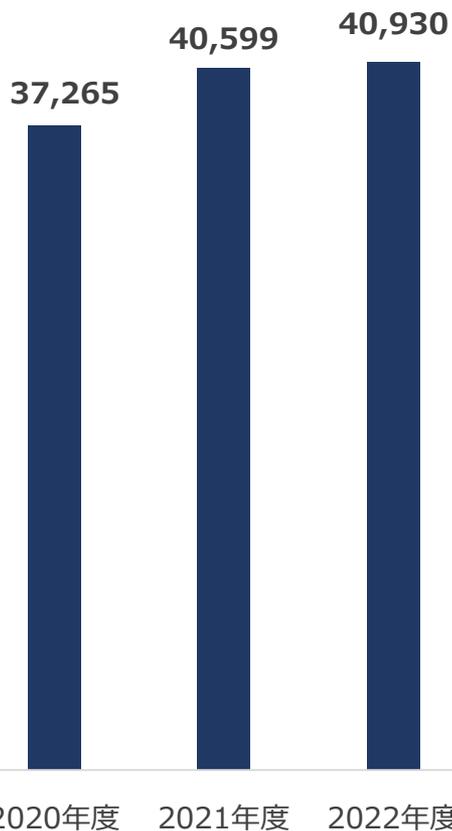
	2022年 3月末	2023年 3月末	増減額
流動資産	30,476	30,286	▲190
現預金	12,796	11,776	▲1,020
売上債権	7,580	8,271	+691
棚卸資産	8,653	8,805	+152
その他	1,442	1,431	▲11
固定資産	10,123	10,644	+521
有形固定資産	8,424	9,035	+611
無形固定資産	198	156	▲42
投資その他	1,500	1,451	▲49
資産合計	40,599	40,930	+331

負債・純資産の部

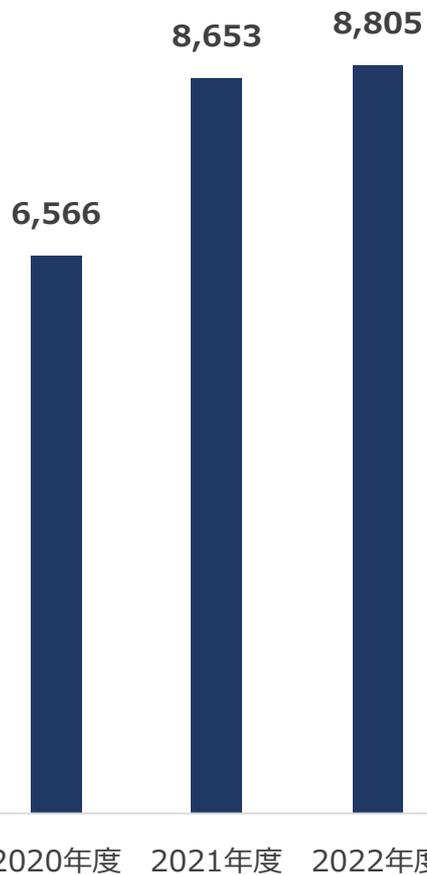
	2022年 3月末	2023年 3月末	増減額
流動負債	9,501	7,841	▲1,660
買入債務	4,577	3,288	▲1,289
短期借入金	1,361	1,099	▲262
その他	3,560	3,451	▲109
固定負債	2,387	1,306	▲1,081
長期借入金	1,987	897	▲1,090
その他	396	407	+11
負債合計	11,888	9,147	▲2,741
純資産合計	28,710	31,783	+3,073
負債・純資産合計	40,599	40,930	+331

- 総資産 +331百万円
- 現預金 ▲1,020百万円 有形固定資産取得、買入債務圧縮、借入金返済等
- 純資産 +3,073百万円 当期純利益3,830百万円、為替換算調整勘定+859百万円等

総資産

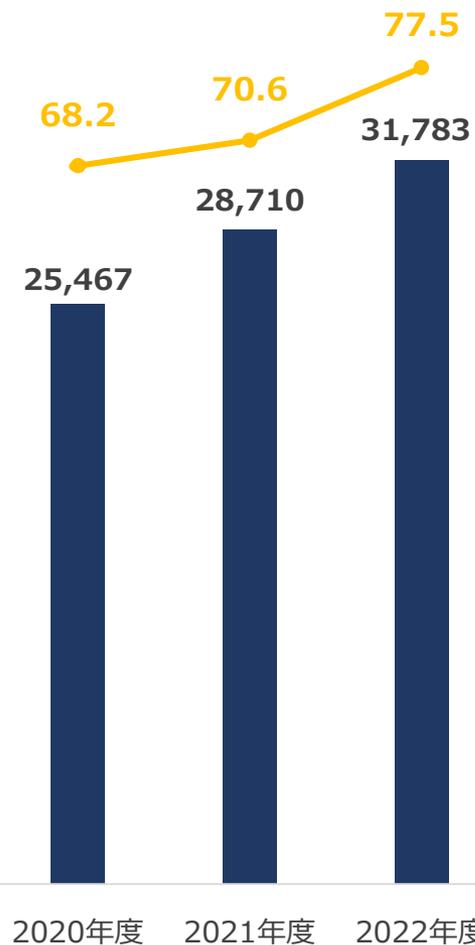


棚卸資産



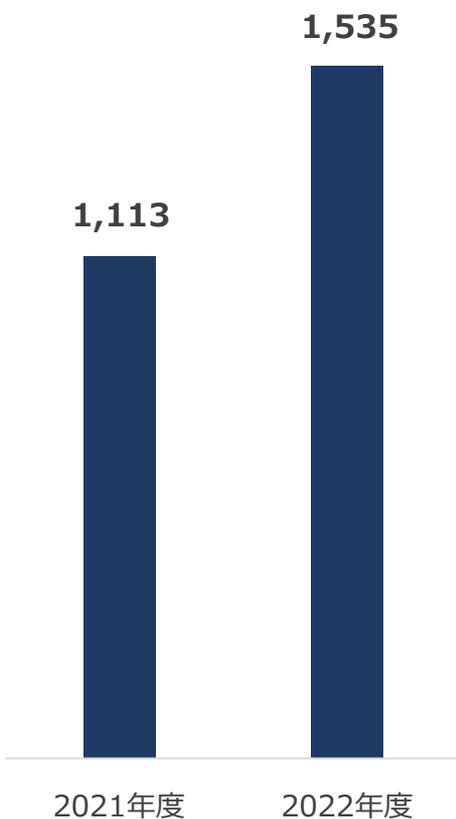
純資産・自己資本比率(%)

(単位：百万円)



設備投資等

設備投資

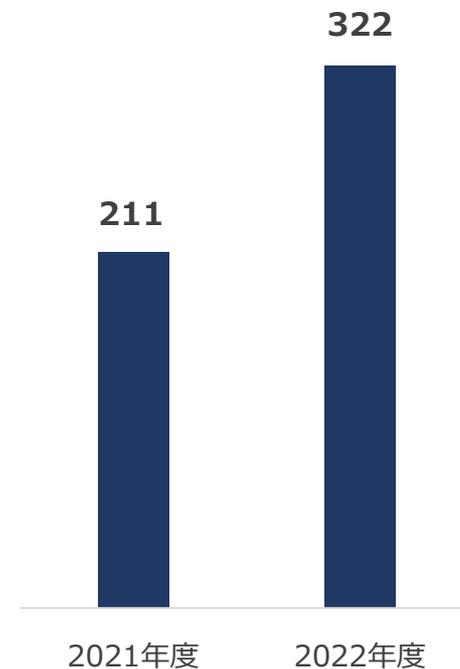


減価償却費

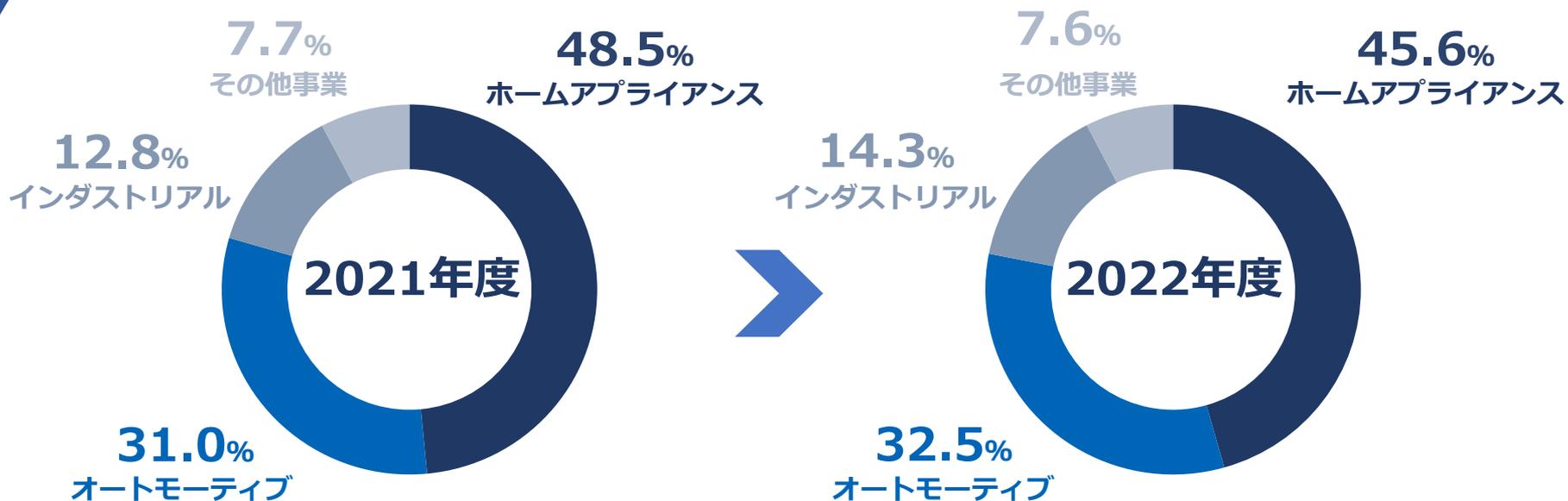


(単位：百万円)

新製品開発費用



売上高構成比



■ ホームアプライアンス ▲2.9ポイント

- エアコン向けセンサの販売が増加
- 住宅設備関連の挽回生産により給湯器向けセンサの販売が増加
- 家電は中国の家電需要が減少し、主に調理用家電向けセンサの販売が減少

■ オートモーティブ +1.5ポイント

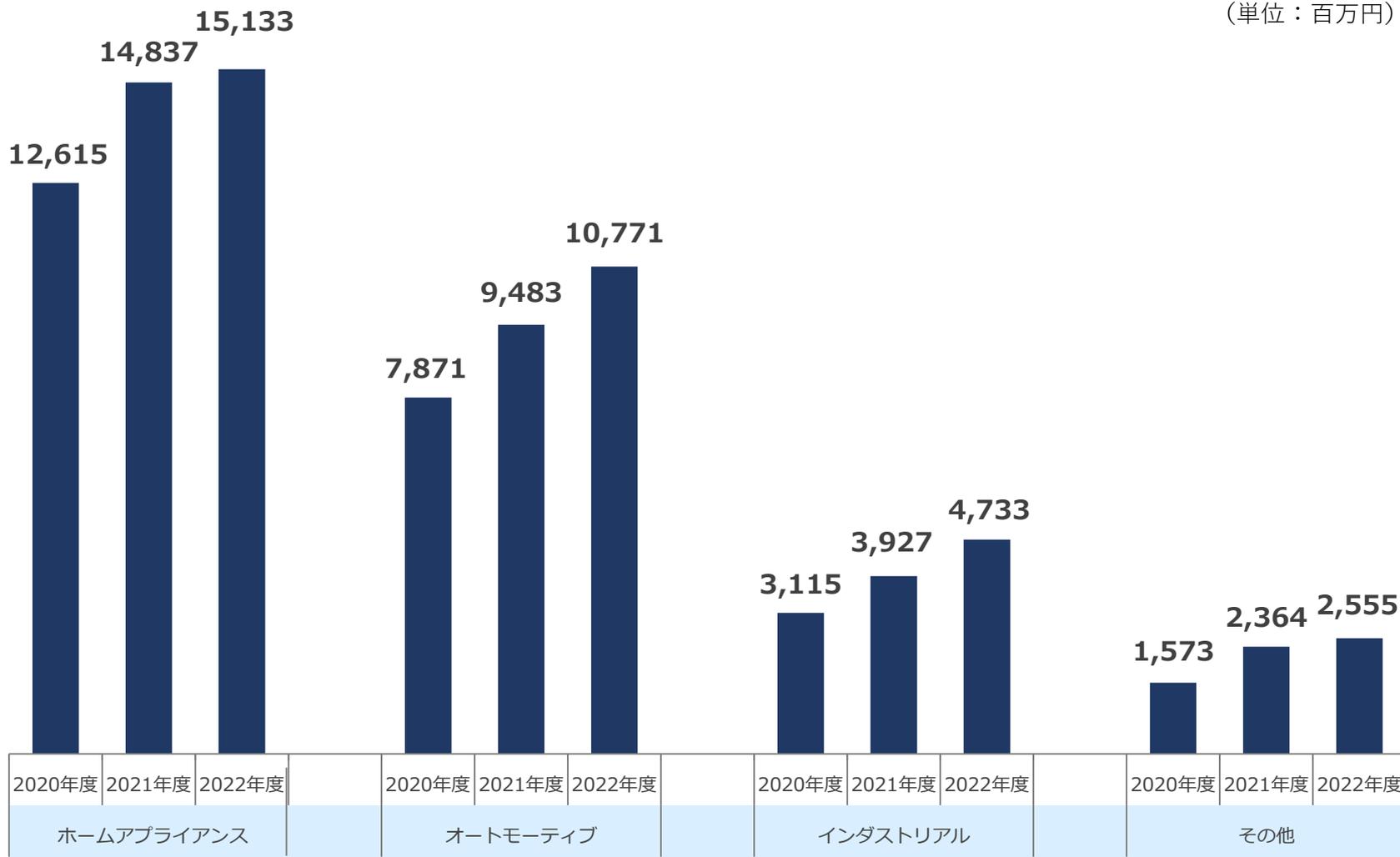
- EV/HV用モーター向けセンサの販売が増加
- 内燃機関車向け素子の販売は減少

■ インダストリアル +1.5ポイント

- OA機器の挽回生産により複合機やプリンタ向けセンサの販売が増加
- 産機では再生可能エネルギー発電向け素子の販売が増加

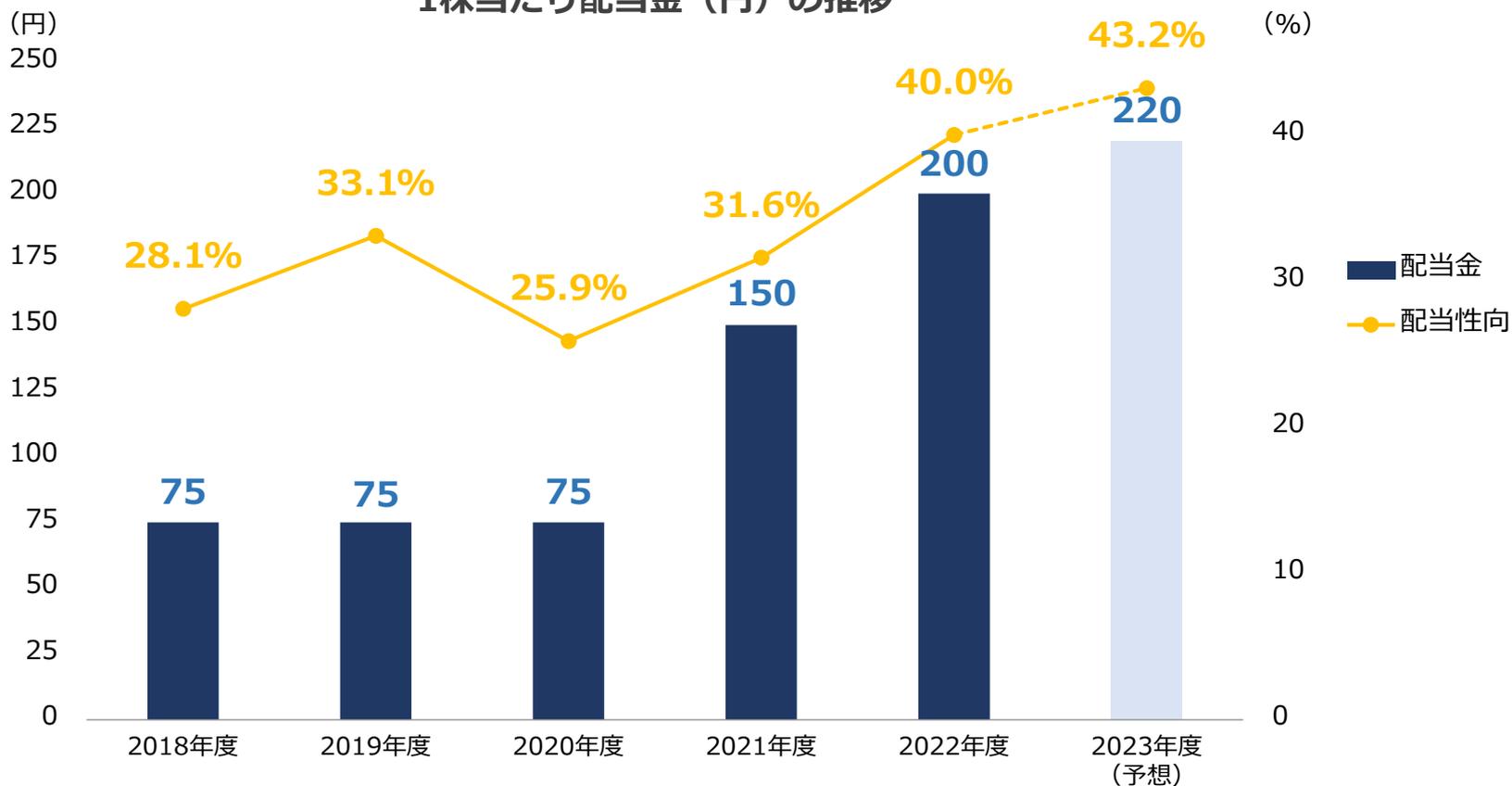
用途別売上高

(単位：百万円)



配当金の推移

1株当たり配当金（円）の推移



- 前年度1株あたり配当金150円から、2022年度決算後の1株当たり配当金を200円に増額
- 2023年度決算後の予想配当金は1株あたり220円
- 配当にあたっては、配当性向やROE（自己資本利益率）、DOE（自己資本配当率）などの指標に加えて、自己資本比率を考慮

2023年度 業績・配当予想

(単位：百万円・%)

	2022年度 実績		2023年度 予想		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上高	33,193	100.0%	33,500	100.0%	+307	+0.9%
営業利益	5,460	16.5%	5,500	16.4%	+40	+0.7%
経常利益	5,617	16.9%	5,500	16.4%	▲117	▲2.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,830	11.5%	3,900	11.6%	+70	+1.8%
1株当たり 当期純利益 (円)	500.64	1.5%	509.77	1.5%	+9.13	+1.8%
年間配当金 (円)	200		220		+20	

02

參考資料

会社概要

社名	:	株式会社芝浦電子
創業	:	1953年3月3日
本社	:	埼玉県さいたま市中央区上落合
代表者	:	代表取締役社長 葛西 晃
事業内容	:	サーミスタ素子、並びにサーミスタ素子を応用した各種製品の製造販売 (温度センサ、湿度センサ、湿度計、温度制御器、風速計 等)
資本金	:	2,144百万円
売上高	:	332億円 (2022年度 / 連結)
経常利益	:	56億円 (2022年度 / 連結)
製造拠点	:	国内5拠点、海外3拠点 (タイ、中国)
販売拠点	:	国内3拠点、海外7拠点
従業員	:	4,834人 (2022年度 / 連結)
上場証券取引所	:	東京証券取引所スタンダード市場 (証券コード : 6957)
単元株式数	:	100株

将来の見通しに関する注意事項

- ◆ 本資料に掲載されている将来の見通しの記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因の過程を前提としています。
- ◆ 実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、原材料価格、製品の需給動向及び市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません
- ◆ 本資料中の定量目標、参考値、投資額等は、あくまでビジョン、中期的戦略等を示すものであり業績予想ではありません。当社はこれらについて情報を更新する義務を負いません。
- ◆ 正式な業績予想は東京証券取引所規則に基づく決算短信での開示をご参照ください。

IRに関する連絡先

経営管理部：keieikanri@shibaura-e.co.jp

 SHIBAURA

 株式会社 **芝浦電子**

株式
会社

芝浦電子

スタンダード市場：6957

中期経営計画

Sense the Dynamics 2023-2025

2023年5月22日

目次

項目	ページ
1. 中期経営計画 Sense the Dynamics 2022年度の振り返り	3
2. 中期経営計画 Sense the Dynamics 2023-2025	6
3. サステナビリティ経営	23
4. 参考資料	29

01

中期経営計画 Sense the Dynamics 2022年度の振り返り

計画の達成状況 財務目標

- 2022年度は売上高は計画値を達成
- 営業利益額、売上高営業利益率、ROEは目標値を下回った

	2022年度 計画	2022年度 実績	差異
売上高	330億円	331.9億円	+1.9億円
営業利益額	60億円	54.6億円	-5.4億円
売上高営業利益率	18.2%	16.5%	-1.7ポイント
ROE	13%以上	12.7%	-0.3ポイント

※2022年度の為替レート

1USドル=131.62円 1中国元=19.5円 1タイバーツ=3.75円 1香港ドル=16.81円

1ユーロ=138.14円 1韓国ウォン=0.1019円

施策の実施状況

● 2022年度の重点施策と実施内容

	基本方針	重点施策	2022年度実施内容
1	品質・生産性向上	製造工程の効率化	<ul style="list-style-type: none">製造工程にIT技術の導入実施継続的な改善活動
		グローバル調達	<ul style="list-style-type: none">新規海外サプライヤーからの購入材料の現地調達の推進
		品質保証	<ul style="list-style-type: none">グローバル品質管理体制の構築
2	製品開発	製品開発方針	<ul style="list-style-type: none">小型・薄型・高耐圧製品の開発自動化設備の対応仕様を標準化した製品開発
		オートモーティブ推進	<ul style="list-style-type: none">HV・EVなど環境対応車への対応強化HV・EV生産に係る自動加工機の導入社員の多能化推進
3	人財育成 ガバナンス強化	人財育成 人的資本経営	<ul style="list-style-type: none">国内工場新人事制度導入役員研修制度の導入、幹部合宿の実施従業員持株会向け譲渡制限付株式導入
		ガバナンス強化	<ul style="list-style-type: none">女性社外取締役就任コーポレートガバナンスコード対応

02

中期経営計画 Sense the Dynamics 2023-2025

中期経営計画 Sense the Dynamics 2023-2025の位置づけ

- 経営環境の変化に柔軟に対応するため、中期経営計画をローリング方式とし、毎年計画を見直します

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
前々回発表→	Sense the Dynamics 2021-2023					
前回発表→		Sense the Dynamics 2022-2024				
今回発表→			Sense the Dynamics 2023-2025			
来年発表→				Sense the Dynamics 2024-2026		

中期経営計画 概要

● 基本方針は前回プランを踏襲

中期経営計画 基本方針



品質・生産性向上



製品開発・
マーケティング



人財育成・
ガバナンス強化

事業分野



ホームアプライアンス



オートモーティブ



インダストリアル

外部環境

財務基盤・収益力

芝浦電子の強み

中期経営計画 Sense the Dynamics 2025年度 財務目標

- 高い収益性を維持しつつ、さらなる成長を目指します



売上高

410 億円

営業利益額

76 億円



売上高営業利益率

18.5 %



ROE

14 %

中期経営計画 Sense the Dynamicsを支える3つの基盤

外部環境

- 経済環境
 - 物価上昇
 - 金利引き上げ
- 地政学リスク
- 脱炭素化社会への移行
- 持続可能な社会への関心の高まり
- デジタル技術革新

当社の強み

- 広範囲にわたる高度な独自の技術力
- 材料から生産設備まで独自の開発力
- 世界最大級の生産能力
- お客様のニーズに対応
- 高い生産性

財務基盤・収益力 2022年度実績

- 連結自己資本 317億円
- 連結自己資本比率 77.5%
- 売上高営業利益率 16.5%
- 税引後営業利益+減価償却費 53.2億円

持続的な成長

中期経営計画 Sense the Dynamics 2023-2025年度 財務目標

中期経営計画 Sense the Dynamics

	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 計画	2024年度 計画	2025年度 計画
売上高	306億円	332億円	335億円	370億円	410億円
営業利益額	56億円	55億円	55億円	65億円	76億円
売上高 営業利益率	18.2%	16.5%	16.4%	17.5%	18.5%
ROE	13.5%	12.7%	12%	13%	14%

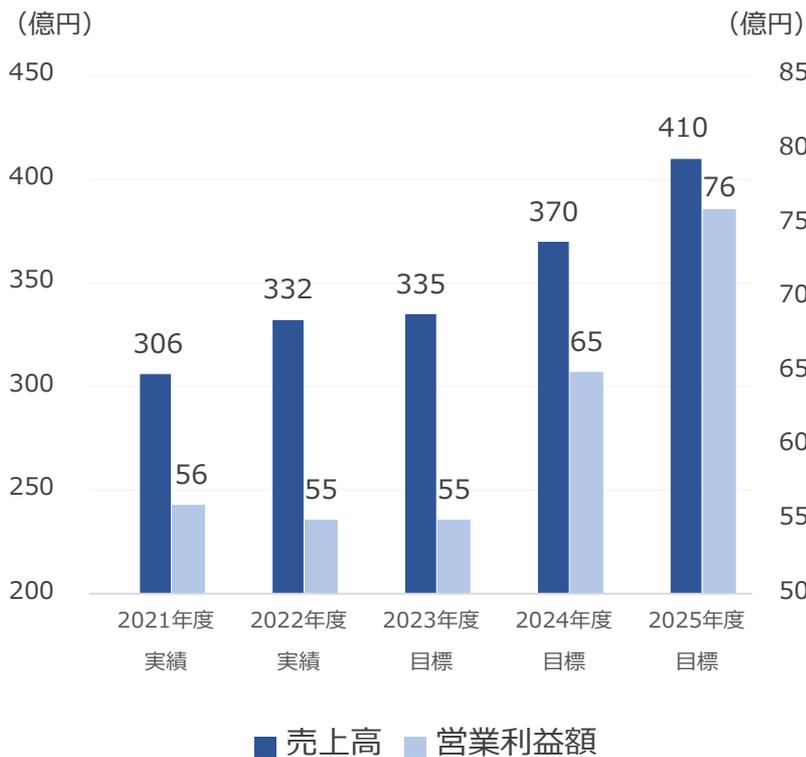
※2023年度以降の前提為替レート

1USドル=123円 1中国元=18.5円 1タイバーツ=3.55円 1香港ドル=15.5円

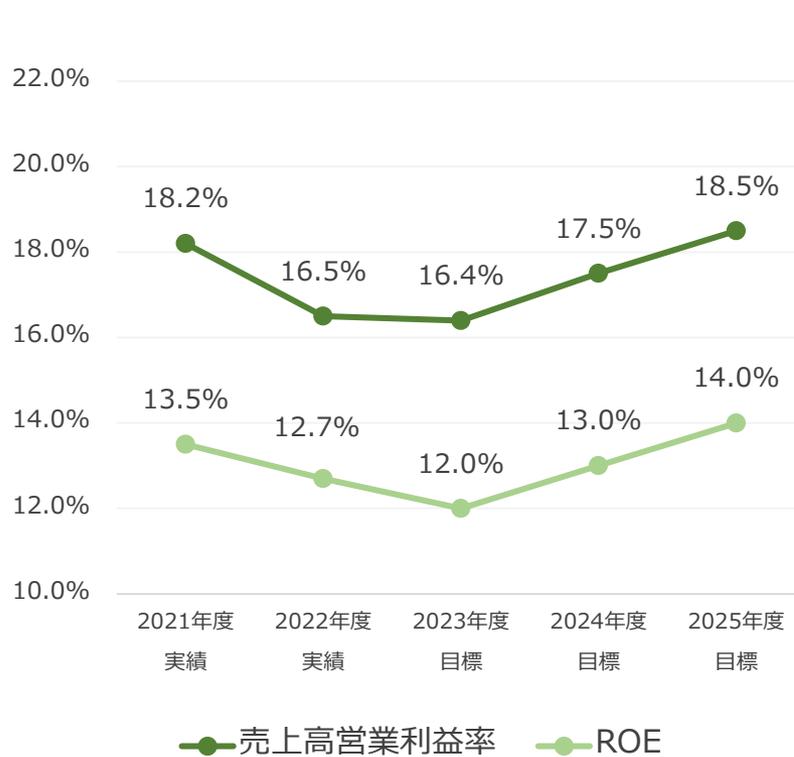
1ユーロ=134円 1韓国ウォン=0.096円

中期経営計画 Sense the Dynamics 2023-2025年度 財務目標

売上高・営業利益額



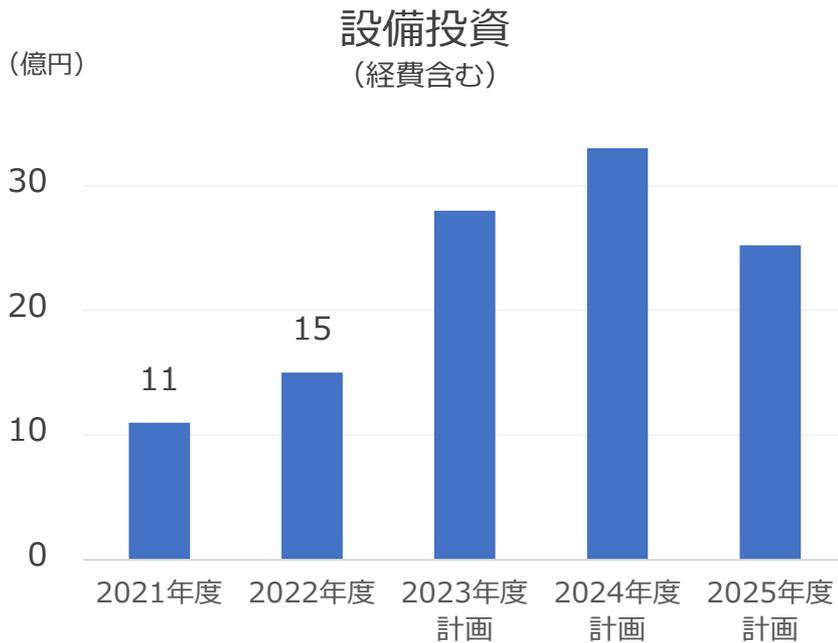
売上高営業利益率・ROE



設備投資と新製品開発費用の計画

設備投資（固定資産取得）

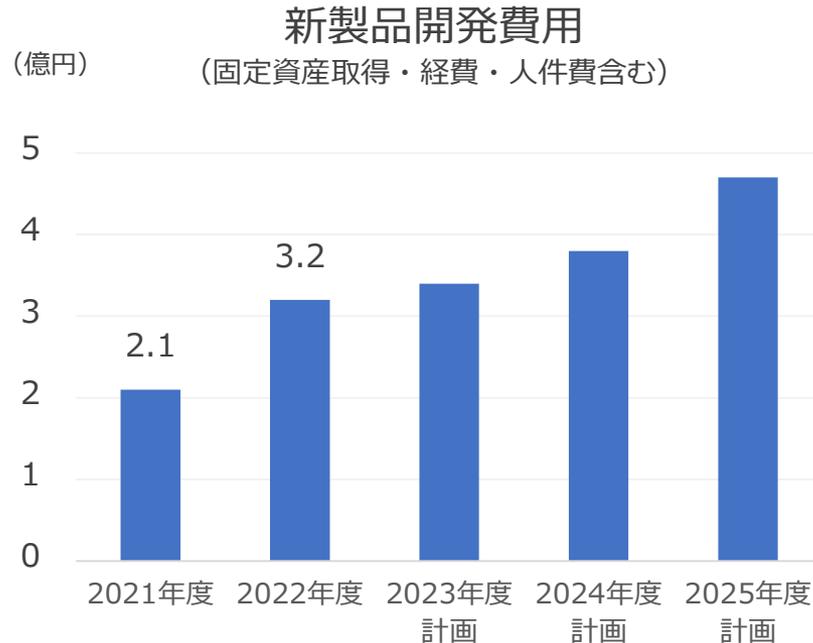
- 事業拡大のため積極的な設備投資を継続



➤ 2023年度より設備投資の計上方法を変更

新製品開発費用

- 新分野・新製品開発



➤ 2022年度より新製品開発費用の計上方法を変更

タイ アユタヤ工場 再稼働

● アユタヤ工場再稼働について

- 2011年の洪水被害以降操業を停止していたアユタヤ工場が、2023年2月に竣工・稼働開始いたしました
- 改修工事後の工場延床面積は7,000平方メートル（約16%増）となります



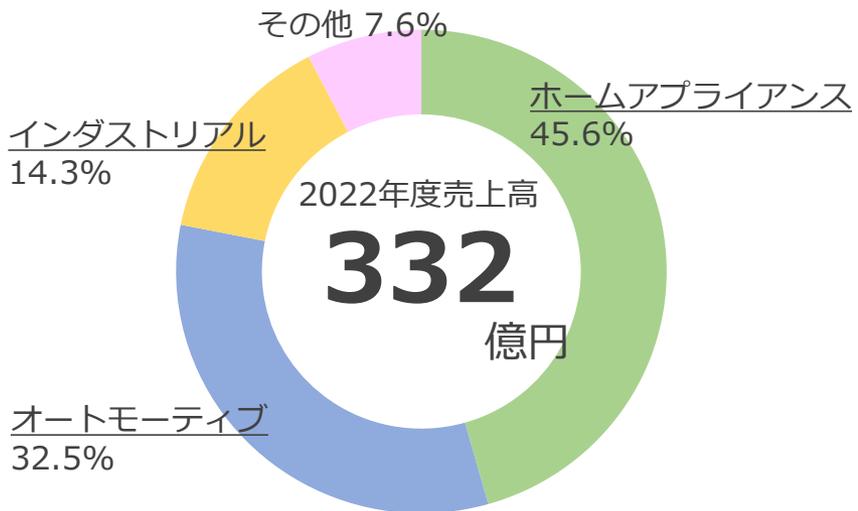
ロビー

● 福島芝浦電子 松川工場の第2号棟増設予定

- 生産能力増強のため、松川工場の敷地内に第2号棟を増設します
- 投資額 : 10億円程度
- 2024年2月着工予定
- 増設後の松川工場全体の延床面積は6,600平方メートルで、現在の延床面積の約2.2倍となります



事業分野



ホームアプライアンス

◆注力する用途・品目

▶ 省エネ家電

- エアコン
- 電子レンジ
- 温水洗浄便座等



オートモーティブ

◆注力する用途・品目

▶ 環境対応車

- EV車・HV車
- PHV車・FCV車



インダストリアル

◆注力する用途・品目

- 再生可能エネルギー発電
- 産業用ロボット
- 新規分野等



その他

◆注力する用途・品目

- 医療用等

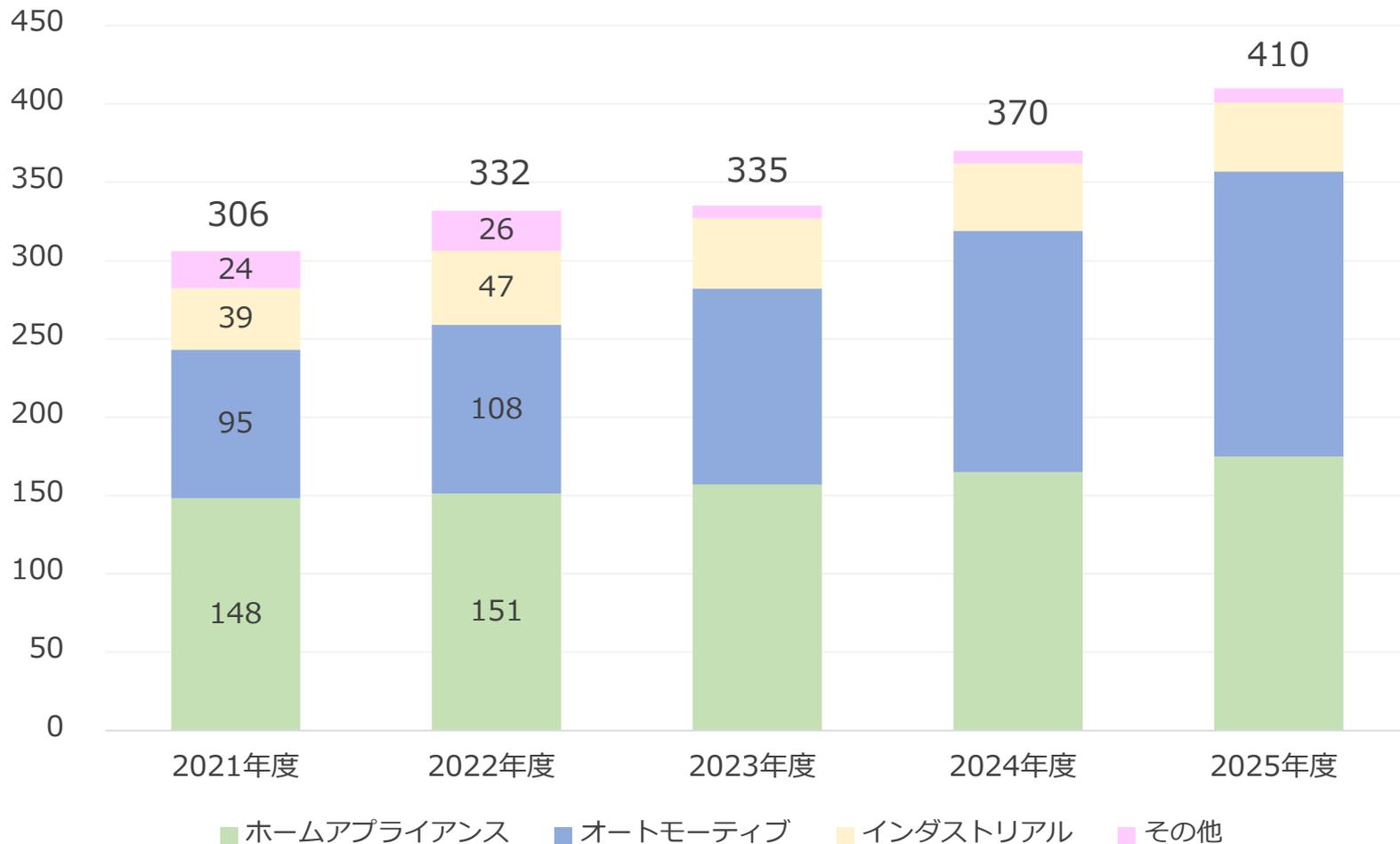


芝浦電子グループが製造しているサーミスタは、環境保全や省エネルギー化に大きく貢献しています



用途別売上高目標

(金額単位：億円)



※ 2023年度より「その他」項目を一部各用途に振り替え

基本方針 1. 品質・生産性向上

拡大するサーミスタの需要に応えるべく、
品質向上と生産性向上の両立を目指した取り組みを実行しています

製造工程の効率化

- 設備の配置、動線の見直し
- 工場シフトの多直化
- 改善活動や好事例の横展開
- AIやロボットを導入して自動化
- アルゴリズム内製化

グローバル調達

- リードタイムの短縮化
- 資材調達コストの削減
- 材料の現地調達の推進
- 環境に配慮した原材料の調達

品質保証

- 安心・安全で高品質な製品の提供
- グローバル品質管理体制の確立
- 品質マネジメントの可視化
- サプライヤーに対する、品質、安全性、工場内の工程の確認

地道な改善活動により、生産性及び品質の向上を図ることで、持続的な産業の発展に貢献します

基本方針 2. 製品開発・マーケティング

製品開発方針

- 小型・薄型・高耐圧製品
- 小型大容量化の進む電動部品に「安全・安心・効率化」の提案
- 高温センサの新ニーズ開拓
- 計測温度域の広いワイドレンジ特性素子
- 自動化設備の対応
(テーピング、エンボスキャリアテープ)
- オートモーティブ推進
- モーター用センサ標準化推進

マーケティング

- ターゲット：
環境規制、エネルギー効率化に関わる分野、市場での拡大
- <国内>
- 電動車向け製品の拡大
 - 省エネ家電への搭載拡大
- <海外>
- 電動車向け製品の拡大
 - 新興EVメーカーへの提案採用
 - ヒートポンプ給湯・暖房製品の拡大
 - エアコンのインバータ化（米国）によるセンサ需要増加への対応
 - 自然エネルギー用製品の需要増加への対応
 - 新分野への取組み

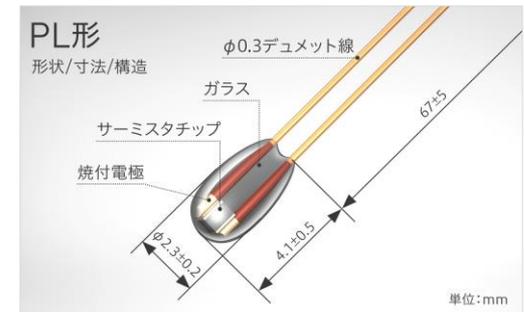
顧客ニーズに沿った独自設計

- 開発段階から、使用環境や温度域などについての打ち合わせを重ね、課題を解決しながら、ニーズにあった製品を製造しています



● 芝浦電子独自のサーミスタ特性

- サーミスタの使用温度範囲が「**-30°C**～**+300°C**」と表記されていても、抵抗レンジの問題で全温度範囲を1本のサーミスタで制御する事は難しく、温度域ごとに複数本のサーミスタを切替ながら制御を実行することが一般的です
- 芝浦電子は温度範囲全てを1本のサーミスタで制御できるワイドレンジ特性を持ったPL-312形を標準仕様として製造しています
- このPL-312形の心臓部であるサーミスタチップは、**世界で唯一1,000°C耐熱**を達成している製品と同じ、高温耐久性に極めて優れたものを使用しています



高温度範囲を1本で制御できる利点と耐久性が評価され、EV車・HV車・PHV車用のモーター温度制御向けの使用が急拡大

● 電動車用 角形FCセンサ ラインナップ拡大

電動車用角形FC
センサ標準品

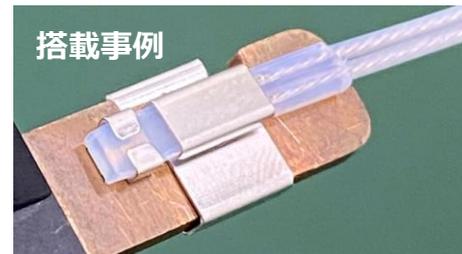


クリップ追加 (モーターコイル用)

センサ形状



搭載事例

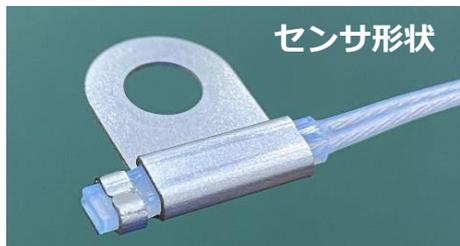


お客様のニーズに合わせた

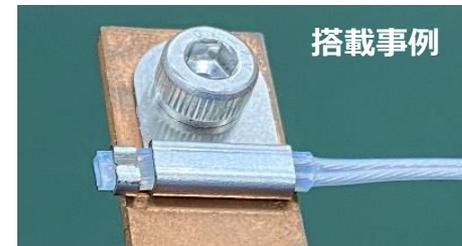
- ・ 取付提案
- ・ アセンブリ加工

ラグ端子追加 (電流遮断ユニット用)

センサ形状



搭載事例



基本方針 3. 人財育成・ガバナンス強化

人財育成

人事制度改革でチャレンジを喚起する仕組みや、自発的な取組みを促進する制度の導入に加えて、長く働きやすい制度を整備することにより、社員のエンゲージメントを高めます

- 人事制度改革の推進
- 新人事制度の国内工場展開
- 多様な働き方への対応

ガバナンス強化

経済環境変化に迅速に対応できる経営管理体制の強化、経営の透明性向上の為、継続的にコーポレートガバナンスの強化に努めます
また、TCFDの趣旨に賛同し、推奨されている体制の整備と気候関連情報開示に取り組めます

- コーポレートガバナンスの強化
- 取締役会実効性評価
- 気候変動への取り組み
- コンプライアンスの徹底

全ての事業活動において、性別、人種、国籍などに関する差別を行わず、あらゆるハラスメントを防止し、すべての従業員が働きやすい環境を整えます



03

サステナビリティ経営



女性活躍推進のための活動

- **ダイバーシティをさらに強化するために、男性、女性に限らず、全社員が活躍できる職場づくりを推進します**

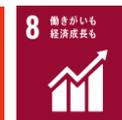
育児との両立支援制度

- **短時間勤務**
小学校3年生の始期に達するまでの子を持つ社員は、育児短時間勤務が可能
- **出産・育児に関する面談制度**
復帰時に本人・上長・総務人事部での面談を実施
- **男性育児休暇取得の推進**

女性取締役による座談会実施

- **女性役員と全女性社員との座談会を開催**
- **女性役員の経験やアドバイスを聞き、働く女性のキャリアの悩みや、仕事と家庭生活の両立についてなどの意見交換を行いました**
- **女性が今後のキャリアを考えるきっかけ、及び参加者同士の横のつながりが生まれる機会を提供しています**

育児との両立支援制度の導入により、仕事と家庭の両立しやすい職場環境づくりを推進します
また、女性を含む多様な人財の活躍に向けて、女性取締役による座談会を実施しています



従業員持株会向け 譲渡制限付株式の割当

- **人的資本投資の一環として、従業員持株会向けに譲渡制限付株式の割当を実施**

- 2023年3月3日の創立70周年を記念し、芝浦電子従業員持株会向けに譲渡制限付株式を1人につき70株を割り当てることを発表しました

対象者 : 社員、契約社員、嘱託社員等（約1,100名）

一人当たり割当株数 : 70株

割当先 : 芝浦電子 従業員持株会

持株会への割当予定日 : 2023年6月29日

譲渡制限期間 : 5年（期日2028年7月1日）

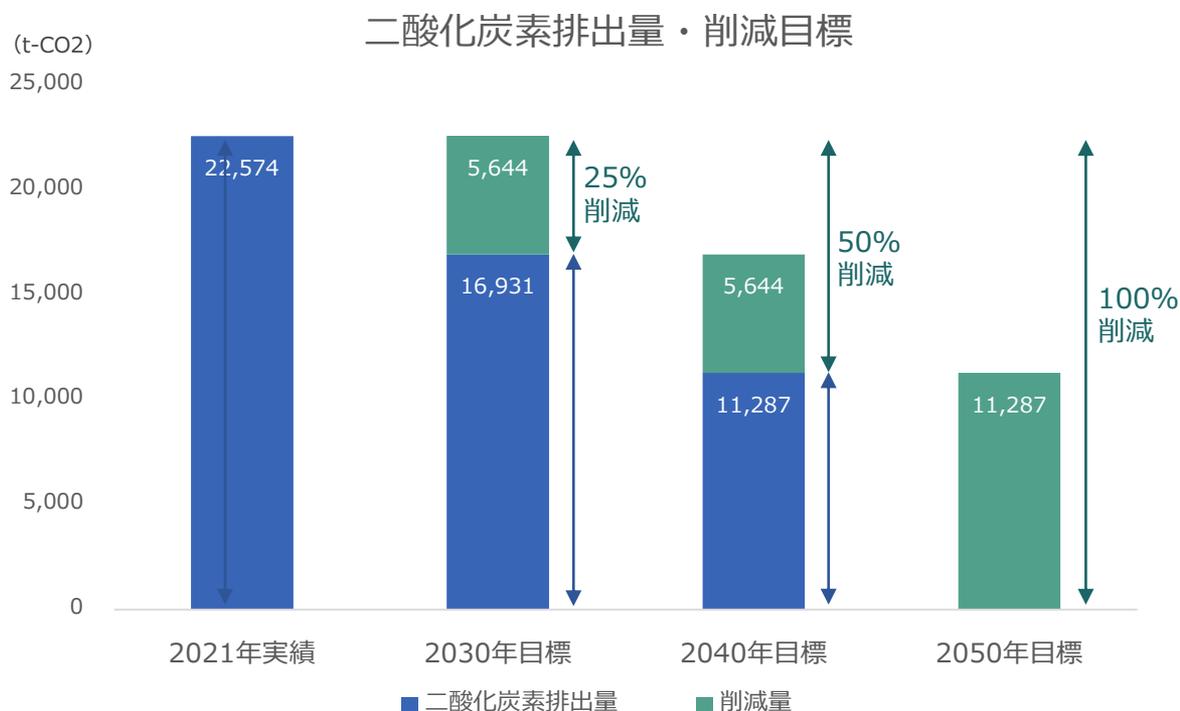
導入の目的 : 福利厚生増進、資産形成の一助
企業価値向上へのインセンティブ



二酸化炭素排出量削減目標

2022年CO2排出量 **14,754 t-CO2** (スコープ1とスコープ2の合計)

- ・ 2030年に2021年比CO2排出量を**25%**削減
 - ・ 2040年に2021年比CO2排出量を**50%**削減
 - ・ 2050年に**カーボンニュートラル**を実現
- 2022年時点で**約35%削減**を達成



二酸化炭素排出量削減の施策

STEP 1 省エネ・再エネ

- ・ 福島芝浦電子で再生可能エネルギー電力を100%導入



STEP 2 創エネ

- ・ 太陽光発電設備等の導入 (海外子会社にて導入予定)
- ・ 蓄電設備の導入

タイ芝浦電子 太陽光パネル導入

● タイ芝浦電子 シンブリ工場にて太陽光パネルを導入予定

■ 導入目的

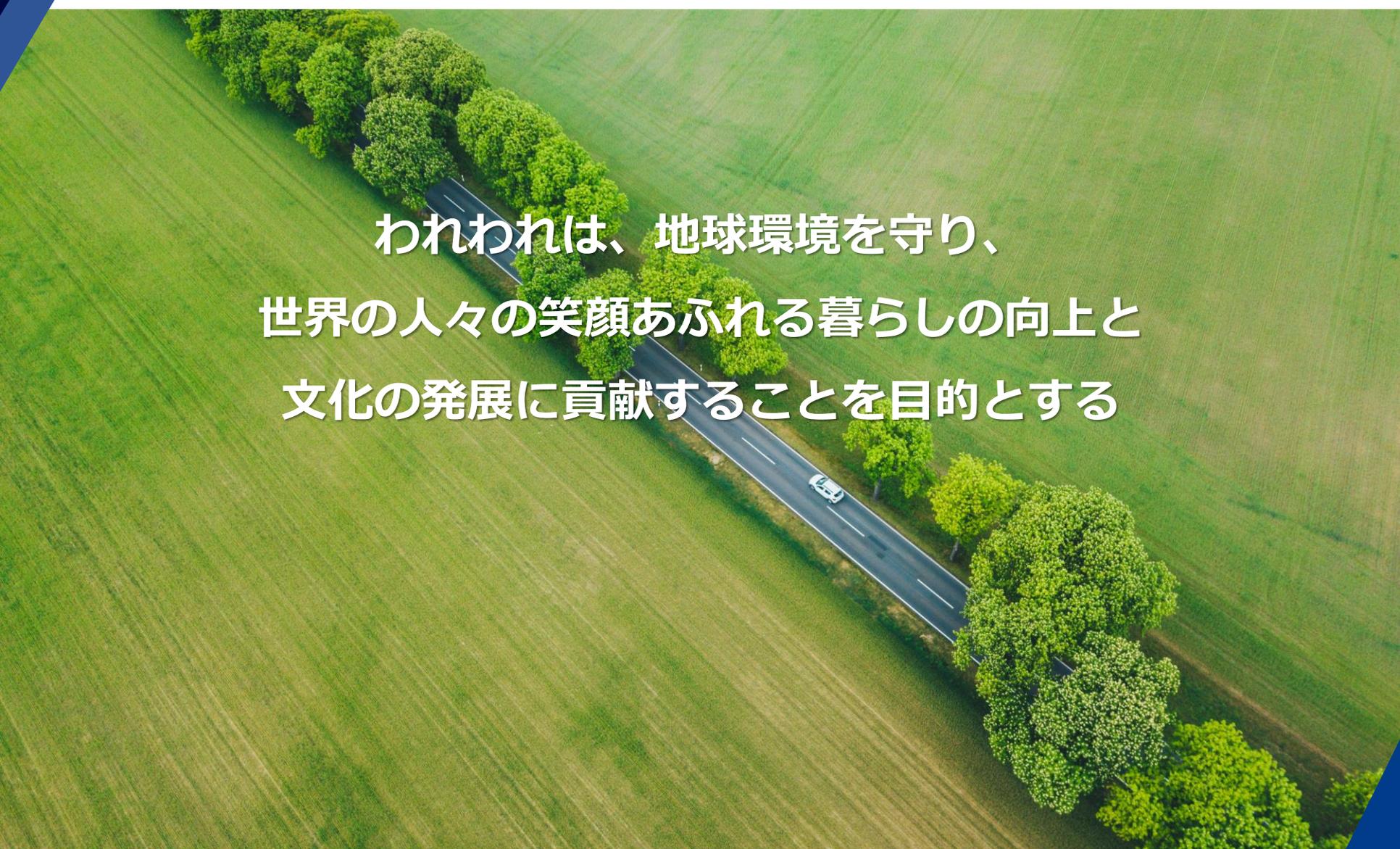
- 芝浦電子グループのカーボンニュートラルに向けた目標達成に向けて、太陽光パネルからの電力を使用することで、CO2排出量を削減します
- 価格が上昇している電気料金の削減にも寄与します

■ 導入スケジュール

1年目	2年目	3年目
4号棟・5号棟	3号棟・6号棟・2号棟	1号棟

- 投資額：約1.1億バーツ
- CO2削減量は約2,400tとなり、タイ芝浦電子の電気料金のうち約44%をカバー可能



An aerial photograph showing a two-lane asphalt road cutting through a vast, green agricultural landscape. A line of lush green trees runs parallel to the road, and a single white car is visible on the road. The text is overlaid in the center of the image.

われわれは、地球環境を守り、
世界の人々の笑顔あふれる暮らしの向上と
文化の発展に貢献することを目的とする

04

參考資料



会社概要

社名	:	株式会社芝浦電子
創業	:	1953年3月3日
本社	:	埼玉県さいたま市中央区上落合
代表者	:	代表取締役社長 葛西 晃
事業内容	:	サーミスタ素子、並びにサーミスタ素子を応用した各種製品の製造販売 (温度センサ、湿度センサ、湿度計、温度制御器、風速計 等)
資本金	:	2,144百万円
売上高	:	332億円 (2022年度 / 連結)
経常利益	:	56億円 (2022年度 / 連結)
製造拠点	:	国内5拠点、海外3拠点 (タイ、中国)
販売拠点	:	国内3拠点、海外7拠点
従業員	:	4,834人 (2022年度 / 連結)
上場証券取引所	:	東京証券取引所スタンダード市場 (証券コード : 6957)
単元株式数	:	100株

将来の見通しに関する注意事項

- ◆ 本資料に掲載されている将来の見通しの記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因の過程を前提としています。
- ◆ 実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、原材料価格、製品の需給動向及び市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません
- ◆ 本資料中の定量目標、参考値、投資額等は、あくまでビジョン、中期的戦略等を示すものであり業績予想ではありません。当社はこれらについて情報を更新する義務を負いません。
- ◆ 正式な業績予想は東京証券取引所規則に基づく決算短信での開示をご参照ください。

IRに関する連絡先

経営管理部：keieikanri@shibaura-e.co.jp

 SHIBAURA

 株式会社 **芝浦電子**